

一橋大学学長増田四郎氏

第三代理事長に就任

創立に参画した大浜、上代、茅、飯田の

四氏を終身理事に推挙す

昭和四十一年一月一日九ノ内銀行倶楽部で開催した理事会は左記のごとき重要な事項を議決した。

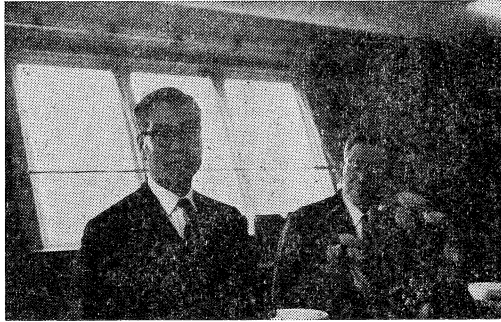
一、大浜信泉先生が早大総長を辞任されたので、本法人の理事長問題を審議し、結局現職の総長、学長をもって理事長に当てることとなり、

しかも本法人の性格上、国立・私立交互に理事長を出すこととし、今回は国立の一橋大学学長増田四郎氏が選任された。

二、大浜理事長の辞任につれて、創立以来の功勞に対し感謝する問題が議題となり、このさい創立に参画した前記四氏を終身理

するセミナー・ハウス

事に推挙した。
三、会員校が三〇校に達し基礎も確立したので、このさい評議員会の構成を現状に即して改組し、別記のごとき基準を設定した。
四、講堂兼体育館、図書館の新築に伴う資金一億五、〇〇〇万円募金計画を決定した。



茅館長(左)と増田理事長

学識経験者、学界の

先輩を評議員に迎へ

評議員選出基準設定

本法人の諮問機関として法人運営のうえに重要な役割を果たす評議員会を、現状に即して改組することとなり、理事会は評議員選出基準を設定した。基本的な考え方は会員校の総長・学長に職務上必ず評議員に就任してもらうこと、本法人の創立に最も関係の深い者に感謝を表わすこと、広く学界の先輩を迎え入れることなどである。左記の先生方はいずれも就任をご快諾された。(敬称略)

A 創立の首脳であった者

大浜信泉、茅誠司、上代たの、佐藤喜一郎、石館守三、飯田宗一郎

B 準備委員として参画した者

小谷正雄、岡田謙、田上稔治、島田孝一、原島進、佐原六郎

C 会員校の代表者

国公立三〇大学の総長・学長
企画委員会の元・現委員長
手塚富雄、松田智雄

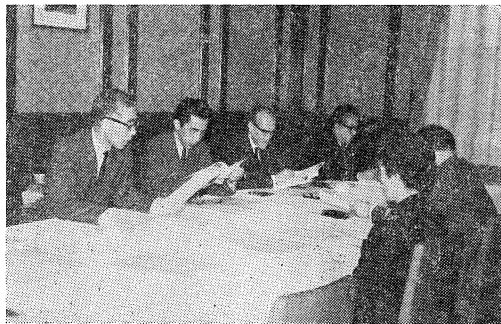
E 学識経験者

我妻栄、赤堀四郎、平塚益徳、平沢興、黒川利雄、村井資長、笠信太郎、斎藤勇、杉野目晴貞、谷川徹三、高村象平、東畑精一、朝永振一郎、山内恭彦、吉田富三

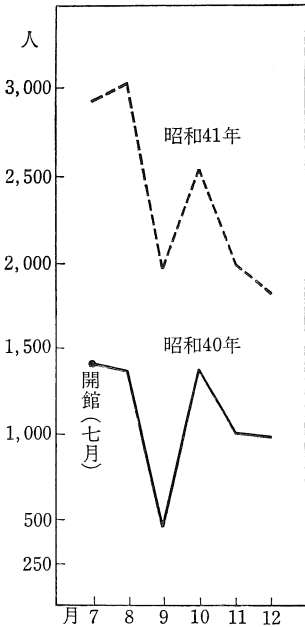
F 建設後援会の財界人

(募金終了後推薦)

理事会(銀行倶楽部)



伸びる利用率

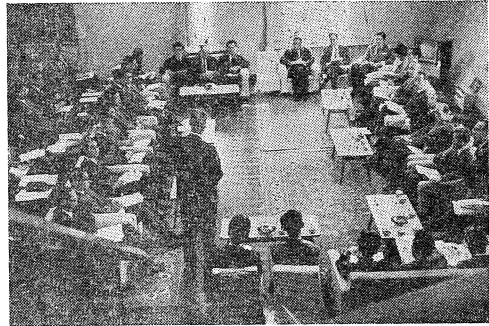


▼協力会員校一覧▲

- 〔国立〕 東京大学、一橋大学、東京教育大学、東京工業大学、東京学芸大学、東京医科大学、東京医科大学、東京農工大学、電気通信大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、東京都立大学、早稲田大学
- 〔公立〕 慶応義塾大学、日本女子大学、明治大学、中央大学、立教大学、法政大学、青山学院大学、日本大学、東京女子大学、武蔵工業大学、明治学院大学、成蹊大学、津田塾大学、順天堂大学、共立女子大学、国際基督教大学、神奈川大学
- 計三〇大学一一〇学部



学生到着(采館玄関前)



会員校事務連絡会

日本の大学の中に定着

国際基督教大学、横浜国立大学、神奈川大学を会員校に迎える
昭和四一年一月、四二年一月に入って前記の三大学の加盟を受け入れたので、会員校は国公立大学三〇校がセミナー・ハウスの適正規模であろうとは関係者の意見である。

利用成績表

(9~12月)

A 大学別利用回数調

1	東京都立大学	一九回
2	早稲田大学	一六回
3	明治学院大学	一五回
4	慶応義塾大学	一四回
5	慶応義塾大学	一二回
5	中央大学	一二回
6	立教大学	九回
7	東京工業大学	八回
7	日本女子大学	八回
8	東京女子大学	七回
8	日本女子大学	七回
8	青山学院大学、法政大学、成蹊	七回

B 大学別宿泊延人員調

1	日本大学	一、五七八人
2	早稲田大学	五三七人
3	慶応義塾大学	四二六人
4	東京都立大学	三八六八
5	東京大学	三六四八
6	明治学院大学	三二二人
7	中央大学	二六四八
8	青山学院大学	二〇六八
9	立教大学	一八七八
10	法政大学	一七二八
10	次点は東京工業大学	一六一八

C 教官別利用回数調

明治学院大	吉田 祐先生	3
早大	山岡喜久男先生	3
東京外語大	岩崎 力先生	2
日本女子大	一番ヶ瀬康子先生	2
東京都立大	団 勝磨先生	2
東京都立大	柴田徳衛先生	2
日大	小田切松吉先生	2
明治学院大	増田茂樹先生	2
日本女子大	石橋秀雄先生	2
早大	永山武夫先生	2
国立音楽大	海老沢敏先生	2

第七回大学共同セミナー

申込学生予定を突破す

「実存思想と現代」を主題として昭和四二年一月中旬に開催する計画をしたが、学生側の反響がきわめてよく、申込者三五〇名を突破したので、もう一度三月下旬にも開催することにした。

セミナー・ハウスの利用状況調(セミナー実施回数・参加人員)

昭和41年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
大 学	回数	34	35	30	41	34	20	54	51	48
	人員	1,168	1,086	790	1,494	989	1,229	2,054	1,138	1,120
学会研究所	回数	6	4	5	7	5	1	5	4	5
	人員	410	328	442	1,320	1,875	146	391	226	367
社会人業界	回数	3	5	2	2	8	5	5	12	4
	人員	256	160	224	66	162	563	127	580	289
計	回数	43	44	37	50	47	26	64	67	57
	人員	1,834	1,574	1,256	2,880	3,026	1,938	2,572	1,944	1,776

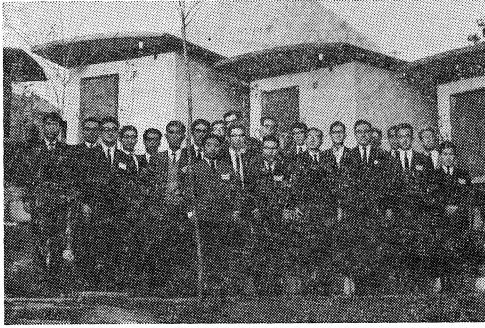
●第七回大学共同セミナー 大学別申込学生

国立	東京大27	一橋大3	東京教育大2	東京工業大5	東京医科歯科大1	東京農工大3	お茶の水女子大5	東京外国語大10	電気通信大2	横浜国立大2	静岡大3	東北大2	埼玉大2	信州大5													
公立	東京都立大9																										
私立	早稲田大61	日本女子大50																									
慶応義塾大8	明治大7	中央大7	青山学院大17	法政大5	立教大1	日本大3	東京女子大38	武蔵工業大12	明治学院大4	成蹊大2	津田塾大16	共立女子大6	ICU1	上智大14	立正大2	東洋大3	学院大1	東京薬科大1	神奈川大6	学習院大1	清泉女子大1	和光大1	実践女子大1	東京理科大1	国際商科大1	和泉女子短大1	宮城学院女子大1

一流企業の少壮社員を招いて 第一回産業人セミナー

主題 ■ 産業と社会——公害問題を中心として

大学セミナー・ハウスが社会人を対象としてセミナーを開催したのはこれが最初である。大学卒業後四、五年を経過し、会社の業務もわかり、これら少壮社員がいつでも伸びていくためにはさらに広い視野と最近の進歩した学問的知識が必要であろうという観点から、本法人が業界に対する奉仕として企画したものである。そして新しい課題である公害問題をテーマとしたのである。



産業人セミナー

公害問題は、因果関係の科学的糾明、除害設備の技術的開発、経済上の費用負担、産業立地、その法律的規制など広く各方面にわたる問題を含んでいるが、その学問的研究は進行の途上にあるといってもよい。

今回のセミナーでは各専門分野の中堅学者が泊りこみで指導に当られ、参加者は学生時代に帰って講義と討議に三日間を費した。ことに委員長の東大法学部加藤一郎教授は開会から閉会まで参加者と共同生活をされ、一貫してこのセミナーを指導されたことが大きな成果をあげた。参加者のアンケートのなかには、この種のセミナーを希望するものが多かった。おそらく会社の業務が多忙であろうから、この静かな学問的環境での生活は心身の休養を与え、明日の指導者としてのすばらしい活力を得て帰られたであろう。

昭和四一年一月二八〜三〇日
◆全体講義
最近における公害と産業災害の実態

東京工業大学教授 崎川範行氏
公害法の現状と展望

東京大学教授 加藤一郎氏
◆セクシオン講義
公害の法律問題と企業の責任
東京大学教授 加藤一郎氏
公害の経済的諸問題と企業責任について
中央大学教授 村田喜代治氏
公害の経済的損失と対策
東京都立大学助教授 柴田徳衛氏
公害と人間工学
東大医学部教授 大島正光氏
技術革新と公害および災害
東京工業大学教授 崎川範行氏
○ゲスト
東電副社長 白沢富一郎氏
厚生省公害課長 橋本道夫氏
通産省公害課長 大藪英夫氏
○参加者(敬称略)
三井石油化学 江見 清隆
東京瓦斯 伊沢 弘志
三菱重工業 三和 武二
日本長期信用銀行 平本 満雄
三菱石油 中村 敬彦
関西電力 牛島 俊明
厚生省 大浦 弥
三菱金属鉱業 佐藤 隆三
帝人 笹本 邦夫
宇都興産 黒沢 正
同 高瀬 稔
東洋レーヨン 田中 益夫
同 池内 稲義
三菱化成工業 大野 淳一
同 大岡 陸夫
同 日本石油 竹尾智恵吉
同 東京電力 小林 重男
同 正立 宣英
同 中村 勲

セミナー・ハウス 拡充計画

講堂兼体育館新築工事 地鎮祭をさわやかに執行

設計は早大吉阪研究室

開館一年の成果はセミナー・ハウスの現状において、最も必要とする施設は何であるかを教えてくれた。大学側の要望、学生のアンケート、教官の助言などを総合して、講堂兼体育館と図書館の新築をとり上げた。いずれもきわめて小規模のものであるが、会員校の主催する新入学生のオリエンテーションや全学的集會、国際学生セミナー、内外の学会、大学共同セミナーなどを考えれば、どうしても二〇〇人から三〇〇人収容できる講堂が必要なのである。

研究上必要な辞典、事典類、一般教養書や専門書・原書などの基本的なものを備え図書館を建てようということになった。

セミナー・ハウスは現に存在している大学教育の殿堂である。そこに建てられる講堂兼体育館と図書館は平凡な設計ではなく、現に建っている他の建物との調和が必要である。青年の未開をひらく夢が育つ建物でなければならぬ。

早大教授吉阪隆正氏がつづいてこの設計を担当してくれた。非凡な設計がすばらしい建物になる目が待たれる。



地鎮祭を終って

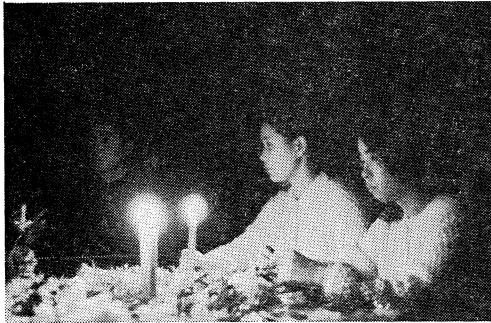
当初の工事のごとく、今回も清水建設に工事をたのみ、昭和四一年九月一日着工の予定で計画をすすめていたが、やっと十一月二日地鎮祭を行なうまでになった。当日は午後二時より建築予定地にテント張りの式場を設け、清水建設の司式により地鎮祭を執行した。形どおり神官のおはらい、増田理事長のくわ入れ、升本評議員会長のすき、谷川徹三理事、飯田専務理事の玉串などがあり、設計者吉阪研究室や工事者、地元八王子市役所、会員校の教授、学生も参列された。

式典が終って、なおらいの会場を食堂に移し、来賓七〇人、学生一〇〇人がこれに参加し、少しく趣向を郷土色にしたおそばとおでんが好評を博した。

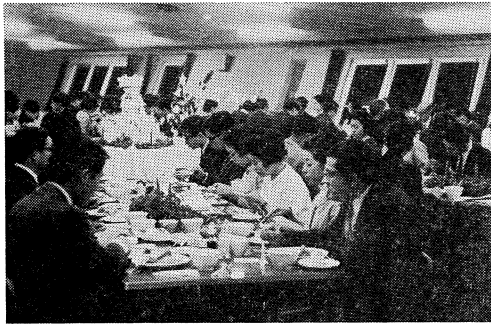
高い思考 楽しい集い

クリスマス・セミナー
クリスマス・パーティ

一八大学一〇〇名の学生を招く●ゲス
トに山内恭彦博士夫妻●東京女子大の
平井、安藤両嬢泊り込みで会場を飾る



キャンドル・サービス



クリスマス晩餐会



パツハをきく学生たち

○パーティ
(午後六・〇〇—一・〇〇)
晩餐会
クリスマス・カロール、キャンド
ル・サービス、プレゼント交
換、ゲーム
指導 日本女子大学
山本和代先生

○参加学生

- (男四七名、女三九名)
- 日本女子大(二二)、早稲田大(一四)、東京大(一一)、東京女子大(五)、順天堂大(六)、共立女子大(五)、成蹊大(三)、上智大(五)、東京工業大、慶応大、法政大、日本大、東京神大(各二)、明治大、中央大、明治学院大、津田塾大、東京電機大(各一)
- 杉山先生の解説によりラウンジでパツハをきき、闇のなかに光と

なるクリスマスの現代的意義について熊沢先生の話に耳をかたむけ、われらの思いを高めた。
晩餐会場には食堂のコックさんたちが腕によりをかけてつくってくれたクリスマス・ディナーがテーブルにならび、その中央には食堂のお手製の巨大なクリスマス・ケーキがデンとおかれ、今夕の主客山内博士夫妻や共立女子大の見玉久雄先生も学生のなかに席をと

卒論にセミナー・ハウスを利用して

明治学院大学増田ゼミ
経四 守屋 輝行

私が、大学セミナー・ハウスを知ったのは我々のゼミナールが卒論の中間発表とその討論のために訪れたときにはじめてその存在と環境、待遇のよさを知りました。そして、卒論の仕上げにはぜひもう一度利用させていただきたいと思い、一月二日から一七日の五泊六日の日程でまいりました。はじめ、個人の利用は原則としてできないと聞いていましたがお願いしたところ、ころよく承諾してくれました。

利用の目的は、卒論を仕上げることで、そのために五泊六日という比較的長期間滞在いたしました。もちろんその目的を十分に達成することができたのは申すまでもございません。

ところで、私がこの施設を利用して感じたことは、何よりもその

り、飯田専務理事の開会の挨拶をもって、晩餐に入った。
日本女子大の山本先生指揮のもとに学生の藤本、宮川西君などが進行係をつとめられ、気のきいた装飾がよく効果をあらわし、クリスマス気分も次第にもえあがり、他の場所ではできない泊りこみのクリスマス・パーティなので、夜おそくまで楽しさがつづいた。年中行事としたものである。

このよい環境の中で卒論を書き上げ、また四年間の学生生活を顧みる時が与えられたことは、非常に有意義なことでありました。また一六日に催された第二回クリスマス・セミナーに参加させていただき各大学の多くの方々と一緒に交わり非常に楽しい時を過ごすことができました。こうして、勉強し、親しく交わりをもったセミナー・ハウスも、社会人となつてから、現在では利用できないことは非常に残念なことだと思います。最後に、今後ますます、セミナー・ハウスが発展し、人格形成の場とならんことを希望します。

建設資金個人寄付申込者

(第四回報告)敬称略

(昭和四〇年七月〜四一年一二月)

坂本 行雄	日本女子大学助教授	所 一彦	立教大学助教授	漢利 重隆	一橋大学教授	中島 章	順天堂大学教授	重井 達朗	東京医科歯科大学教授
榊原 聰彦	日本大学教授	藤井 隆	東京大学教授	谷 重雄	東京都立大学教授	内山 尚三	法政大学教授	玉虫 文一	東京女子大学教授
立花 太郎	お茶の水女子大学教授	高木敬次郎	東京大学教授	英 修道	慶応義塾大学教授	吉田 正昭	日本女子大学助教授	矢野 禾積	東洋大学学長
加藤ライジ	工学院大学教授	林 太郎	お茶の水女子大学教授	河原茂太郎	日本大学教授	武藤 静子	日本女子大学教授	赤松 要	明治大学教授
川田熊太郎	前東京大学教授	藤田 広一	慶応義塾大学助教授	三瓶与右衛門	立教大学教授	小田切松吉	日本大学教授	片岡 正治	明治大学教授
中川 重雄	立教大学教授	中江 利郎	日本女子大学講師	今野 秀一	公認会計士(仙台)	尾崎 茂	青山学院大学教授	石森 千代	元日本女子大学教授
吉本 正樹	法政大学教授	大須賀政夫	法政大学講師	橋本 郁雄	一橋大学助教授	森口 繁一	東京大学教授	経塚作太郎	中央大学教授
石橋 秀雄	日本女子大学助教授	有賀喜左衛門	日本女子大学長	細谷 隆二	日本大学助教授	川本 信之	日本大学教授	久松栄一郎	中央大学教授
栗田忠四郎	早稲田大学教授	山崎 清子	東京学芸大学教授	大河内正陽	神奈川大学教授	山本 武彦	順天堂大学助教授	井上 達雄	中央大学教授
一松 信	立教大学教授	小林 達吉	東京教育大学教授	四宮 和夫	立教大学教授	内藤 聖二	順天堂大学助教授	野々上 勲	三井銀行八王子支店
有沢 広巳	法政大学教授	渡辺 ミチ	東京学芸大学教授	当山 道三	日本大学教授	関根 隆光	順天堂大学教授	菱刈 重芳	三井銀行八王子支店
三浦 修	日本大学教授	遊部 久蔵	慶応義塾大学教授	渡部 力	東京大学助教授	山本 謙一	青山学院大学助教授	桜庭 一郎	青山学院大学助教授
宗宮 知行	慶応義塾大学教授	水本 浩	立教大学教授	三島 徳七	東京大学名誉教授	村田 忠禧	学生(東大)	杉山 登	東京教育大学教授
亀井 清	東京事務器(東京)	宮本馨太郎	立教大学教授	早島 鏡正	東京大学助教授	徳永 清	明治学院大学学生課	金子 文六	中央大学教授
中鉢 正美	慶応義塾大学教授	伊藤 隆	立教大学助教授	太田 可夫	一橋大学教授	海老沢克之	学生(東工大)	赤坂 隆	中央大学教授
鈴木登紀男	慶応義塾大学助教授	山崎 宏	東京教育大学教授	古川 栄一	一橋大学教授	大井ミノブ	日本女子大学教授	布施 欽吾	中央大学教授
青木 生子	日本女子大学教授	山井 湧	東京大学助教授	岡野 昇一	立教大学助教授	中島 邦	日本女子大学助教授	渡辺美知夫	東京女子大学教授
三浦 干三	日本大学教授	鈴木惠美子	主婦(東京)	北原 三郎	一橋大学教授	野見山フジ	日本女子大学教授	高柳 晁	中央大学助教授
蓑田 茂	日本大学教授	清田 妙	主婦(茨城)	山城 章	一橋大学教授	北島メリー	日本女子大学教授	近藤 圭一	中央大学教授
大竹 勝	東京経済大学教授	清水 阿也	東京学芸大学助教授	遠藤 健児	武蔵工業大学教授	秋吉 正豊	東京医科歯科大学教授	園部不二夫	明治学院大学教授
平島 正喜	電気通信大学教授	村田 全	立教大学助教授	富山沙和子	日本女子大学助手	神山 妙子	青山学院大学教授	大塚 久雄	東京大学教授
原田 種臣	早稲田大学助教授	金丸 重嶺	日本大学教授	小泉 一郎	学習院大学教授	墨 敏夫	艶金興業社長(愛知)	小松 春雄	中央大学教授
大森英治郎	日本大学教授	大月 照江	日本女子大学教授	内藤 元男	東京大学教授	三神 勲	青山学院大学講師	齋藤 修	中央大学教授
三宅 義夫	立教大学教授	川田 静枝	日本女子大学教授	諏訪 秀二	鹿兒島トヨタ自動車専務	市岡 正道	東京医科歯科大学教授	谷永 繁雄	三鉦商事(東京)
西村 正衛	早稲田大学教授	落合 英二	東京大学名誉教授	勝木 保次	東京医科歯科大学教授	渡辺 節子	日本女子大学助手	瀨沼 源一	三鉦商事(東京)
鷺尾 泰俊	慶応義塾大学助教授	長谷川 進	法政大学教授	真島 英信	順天堂大学教授	木村 増三	一橋大学教授	小松 八郎	明治大学助教授
岸上 慎二	日本大学教授	村山 松雄	文部省大学学術局審議官	田島 恵児	青山学院大学助教授	篠田 俊蔵	青山学院大学教授	秋元 和雄	中央大学教授
山口 俊夫	立教大学助教授	山田 妙子	日本女子大学講師	伊藤 善市	東京女子大学教授	岡野加穂留	明治大学助教授	松野 賢吾	南山大学教授
中浜 信子	日本女子大学助教授	師岡 愛子	日本女子大学助教授	鴨沢 巖	法政大学教授	小谷野格文	千葉大学教授	川原 栄峰	早稲田大学教授
		三村 二	東京医科歯科大学教授	村松 映	慶応義塾大学教授	相良 守次	東京女子大学	井上 ヒデ	東京女子大学
		小川 鼎三	順天堂大学教授	山田 映	慶応義塾大学教授	古関 吉雄	明治大学教授	石塚司農夫	順天堂大学事務長
				山田 映	慶応義塾大学教授	小河原正己	東京女子大学教授	福田 保	順天堂大学教授
				山田 映	慶応義塾大学教授	石原 通子	日本女子大学助教授	水野 重光	順天堂大学教授
				山田 映	慶応義塾大学教授			伊丹 潔	東京都立大学教授

鈴木 皇 上智大学教授
 藤永 保 東京女子大学
 フリードリヒ エルランゲン・ニ
 ユルンベルグ大学総
 長(独)

杉山 好 東京大学助教授
 金田 一雄 東京都立大学教授
 塩谷 明雄 日本大学
 桂 寿一 中央大学教授
 山本大二郎 明治大学教授
 長谷川 広 中央大学
 根岸 愛子 東京女子大学助教授
 三保 文江 アメリカ・フレンズ
 ・センター主事

大江 精三 日本大学教授
 永田菊四郎 日本大学総長
 野口 定男 立教大学教授
 平塚 益徳 国立教育研究所長
 藤井 耕一 明治大学教授
 高松 松吉 大学セミナー・ハウ
 ス職員
 関口 実 サンエスランドリー
 (八王子)

碓井 隆次 兵庫
 井上百合子 日本女子大学
 良知 力 法政大学
 慶応義塾大学高村ゼミ
 早稲田大学市川ゼミ
 日本大学夏季法職研究会
 東京都立大学半谷ゼミ
 基督教友会日本年会
 横浜市立図書館
 明治学院大学グリークラブ
 第二回共同セミナー参加学生
 成蹊大学文学部ゼミ
 日本大学岩井ゼミ
 青山学院大学藤村ゼミ

早稲田大学碧稲会
 日本大学マンドリンクラブ
 日本国際連合学生連盟東京都本部
 東京学生事務管理連盟
 中央大学富岡ゼミ
 東京農工大学大野ゼミ
 東京神学大学修養会委員会
 川島建築設計研究所
 経済統計研究会
 東京女子大学天利ゼミ
 東京都立大学森脇ゼミ
 東京都立大学有機工業化学科
 明治学院大学増田ゼミ
 慶応義塾大学中鉢ゼミ
 早稲田大学市川ゼミ

寄付申込額内訳

三〇,〇〇〇円 一名
 二〇,〇〇〇円 一名
 一〇,〇〇〇円 五名
 五,〇〇〇円 一三名
 三,〇〇〇円 六一名
 二,〇〇〇円 三三名
 一,五〇〇円 二名
 一,〇〇〇円 六〇名
 五〇〇円 四名

合計

四七九,〇〇〇円 一八〇名

累計

二,九一三,〇〇〇円 七一二名
 ゼミナールなど団体寄付

募金箱

八三,六一六円 二六件
 三,九七〇円 二四名

総計

三,〇〇〇,五八六円 七三六名
 二六件

地の塩となれ

セミナー・ハウスで学ぶもの

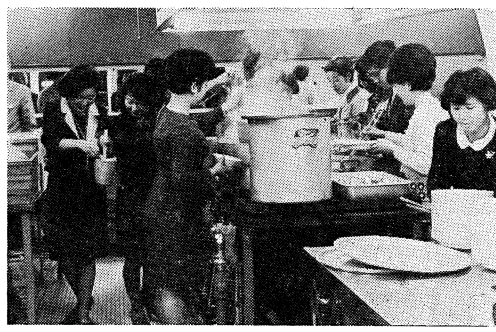


上智大学教授(物理学)

鈴木 木 皇

一年前、開館記念の時は、未完
 成な姿のセミナー・ハウスに熱気
 のような感激が満ちていた。この
 たび、予定どおり整備がととのつ
 た一周年記念には、初めての誕生
 日に歩き出した幼児を見守るよう
 な、和やかな祝福の気分が漂って
 いた。記念の共同ゼミも、種々な
 経過はあったが、学生諸君の手で
 見事に遂行されて、関係者一同安
 堵した。

クリスマス・パーティの女子学生夜食づくり

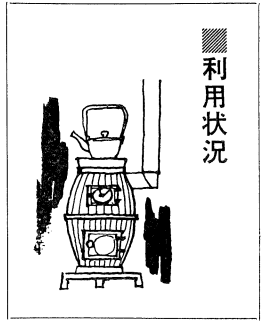


クリスマス・パーティの女子学生夜食づくり

などへ行かない自由を保証せよと
 ラッセルは言う。なるほど、大学
 に入る本質的な欲求もなく、きび
 しい基礎訓練もへていない学生が
 大学にあふれ、素質はありながら
 大学に入る余裕のない青年が世間
 に多い間は、何を論じて的の外れ
 の気もする。資格上も経済的にも
 大学に入り得る青年が、大学に入
 らないで他の道をえらぶ自由が一
 般化されるまでは、山積する大学
 問題は解決しないかもしれない。
 こう思いながら、その日の夕刊を
 見ていたら、曾野綾子さんの警拔
 な「教育論」がのっていた。人間
 の底知れぬ深さを知らないで、人
 が人を教育できるなどと錯覚して
 いる間は真の教育はありえないと
 いう主旨は、強く私の胸にひびい
 った。こんな気持で、私は大学の理
 念と現実というゼミに参加してい
 た。

ところで、このセミナー・ハウス
 に集まるほどの諸君の向学心・求
 道心・責任感・覇気などを私は快
 く、高く評価する。しかし大学が
 世界の中心なのではない。私はあ
 えて学生諸君に問う。本当に必要
 なのは諸君が地の塩となることでは
 なるか。塩は自ら消えて見え
 なくなるが、社会の腐敗を防ぎ、
 真の味をつける。そんな仕事と人
 生は、今の世の中にくらでもあ
 りうる。少し立派に出来すぎたけ
 れど、このセミナー・ハウスも、
 そして飯田さんの驚嘆すべき働き
 も、本来は地の塩なのである。

利用状況



語学研修セミナー

世界経済交流協会
アジア問題研究セミナー
日本ジョン・F・ケネディ記念基金

東京都立大学教授 林 栄夫
東京都立大学教授 高峯 一愚

「セールズエンジニアリング」
セミナー
浅沼商会株式会社

東京都立大学教授 坂野 正高
東京大学教授 遠藤 湘吉

早稲田大学講師 木村 駿
「空間」研究セミナー
川島建築設計研究所

英語学研究会セミナー 佐山 建昭
早稲田大学教授 春日井 博

日本女子大学教授 井上百合子
東京女子大学教授 天利 長三

経済統計研究会 是永 純弘
明治学院大学講師 増田 茂樹

東洋英和女学院短期大学助教授 岡田 洋子
東京家政学院大学教授 大槻 春彦

東京女子大学助教授 柏木 恵子
小倉 安之

早稲田大学助教授 山岡喜久男
修養会 日本聖書協会

東京工業大学講師 水谷 弘
東京都立大学助教授 東 洋一

東京外国語大学助教授 ジョン・O・パークスデイル
東京都立大学助教授 森山 重雄

課長経営管理セミナー 岩崎 力
川崎製鉄株式会社 立教大学講師 肥前 正己

部課長セミナー 永福町教会 飯田 貫一
立正大学講師 高橋 恭平

新生教会 日野自動車株式会社 副田 義也
早稲田大学教授 永山 武夫

一番ヶ瀬康子

成蹊大学の会
東京都立大学教授 森脇大五郎
中央女子大学助教授 栗原 福也

学習院大学教授 天野 恭徳
管理者講習セミナー 大野 晋

日興証券株式会社 折原 浩
武蔵工業大学電気科セミナー 鳥山 四男

基礎物理学研究会 福田 信之
無脊椎動物発生学シンポジウム 団 勝磨

青山学院大学助教授 浅野 順一
東京外国語大学助教授 山之内 靖

明治学院大学助教授 金井信一郎
法政大学助教授 柏野 晴夫

立教大学助教授 武沢 信一
日本ルーテル神学大学 岸 千年

東京大学助教授 杉山 好
東京農工大学助教授 中村 源一

東京都立大学助教授 山崎 康男
慶応義塾大学助教授 吉田 啓一

全国保母養成協議会 森 重敏
青山学院大学助教授 西島 正

東京女子大学青少年友の会 元吉 功
明治学院大学助教授 宮本信之助

青山学院大学歴史研究部 中鉢 正美
慶応義塾大学助教授 日本大学マンドリンクラブ

早稲田大学助教授 馬場 明男
鳥羽欽一郎

慶応義塾大学助教授 加藤 寛

良知 力

法政大学助教授 山下 美雄
中央大学助教授 矢野健太郎

東京工業大学助教授 戸川 尚
慶応義塾大学講師 山口 喬

法政大学助教授 秋田 成就
中央大学助教授 鶴見 勝男

東京都立大学助教授 伊丹 潔
立教大学助教授 佐藤誠三郎

早稲田大学助教授 松本 馨
早稲田大学助教授 松田 武彦

全国私立学校研究会 大村 充
東京工業大学助教授 大須賀政夫

日本大学助教授 松田 武彦
電気通信大学助教授 大須賀政夫

青山学院大学助教授 大須賀政夫
イア 気仙 三一

早稲田大学助教授 篠塚 昭次
東京工業大学助教授 益子 正己

慶応義塾大学法律相談所 津田 利治
早稲田大学助教授 山岡喜久男

早稲田大学助教授 市川 孝正
掛長研修セミナー 川崎製鉄株式会社

慶応義塾大学助教授 村井 実
東京都立大学助教授 岡島 三郎

日本大学助教授 小田切松義
慶応義塾大学助教授 内山 正熊

明治学院大学助教授 吉田 裕
早稲田大学助教授 町田 実

立教大学助教授 近藤 晃
立教大学助教授 四宮 和夫

中央大学助教授 世良 正利
学習院大学助教授 河野 豊弘

青山学院大学助教授 関田 寛雄

明治学院大学講師 増田 茂樹
菅業管理者講習 日興証券株式会社

東京都立大学助教授 泉 三義
東京学芸大学助教授 日下部 智

東京都立大学助教授 半谷 高久
東京SD会 味の素株式会社

東京都立大学助教授 戸塚 元吉
第六回大学共同セミナー 辻 清明

東京大学講師 富永 健一
立教大学助教授 山田耕之介

早稲田大学助教授 西村 秀夫
早稲田大学助教授 村松林太郎

早稲田大学助教授 鶴岡 義一
早稲田大学助教授 新沢 雄一

日本大学助教授 岩井 肇
東京工業大学助教授 阿部 統

掛長研修セミナー 川崎製鉄株式会社
東京大学助教授 菊地 昌典

東京学芸大学助教授 高山 一彦
日本基督教会東京中会青年部 岩崎 力

東京外国語大学助教授 塚本 寿一
慶応義塾大学助教授 大木 英夫

滝の川教会 山下 利義
上智大学助教授 鈴木 皇

行人坂教会 木村 知己
東京都立大学助教授 金沢 孝文

明治学院大学助教授 重田 信一
販売管理セミナー 浅沼商会株式会社

早稲田大学助教授 山岡喜久男
早稲田大学助教授 岩瀬 孝

農業土木学会 山崎不二夫
 東京都立大学教授 川田 雄一
 三井銀行八王子支店実務研究会 石橋 秀雄
 日本女子大学教授 石橋 秀雄
 東京女子大学教授 佐山栄太郎
 販売管理セミナー
 浅沼商会株式会社
 明治学院大学教授 黒川 純一
 早稲田大学教授 永山 武夫
 掛長研修会セミナー
 川崎製鉄株式会社

十二月
 中央大学教授 岡津 守彦
 中央大学教授 崎田 直次
 中央大学教授 吉木 文平
 早稲田大学教授 林 容吉
 国立音楽大学助教授 海老沢 敏
 日本大学教授 小田切松義
 東京工業大学教授 益子 正己
 早稲田大学教授 十代田三知男
 日本国際連合学生連盟セミナー
 慶応義塾大学助教授 関本 昌秀
 東京大学教授 岡 義達
 企業内管理職研修
 三井物産株式会社
 東京都立大学助教授 柴田 徳衛
 営業者講習セミナー
 日興証券株式会社
 国立音楽大学助教授 海老沢 敏
 明治学院大学助教授 吉田 裕
 立教大学講師 大橋 泰二
 中央大学助教授 佐竹 寛
 中央大学助教授 村田 稔
 成城大学講師 山田 高生
 明治学院大学助教授 大島 貞夫
 東京都立大学教授 団 勝磨
 東京工業大学助教授 山崎 俊雄

中央大学助教授 鮎沢 成男
 国際問題研究会セミナー
 武蔵野美術大学教授 寺田 秀夫
 早稲田大学教授 西村朝日太郎
 企業内管理職研修セミナー
 三井物産株式会社
 横浜国立大学助教授 成田 頼明
 法政大学助教授 力石 定一
 一橋大学学祭実行委員会
 順天堂大学学学生部次長
 石塚司農夫
 多賀秋五郎
 阿武 芳朗
 塩田庄兵衛
 内田 久司
 石橋 秀雄
 日本学生事務管理連盟セミナー
 明治学院大学助教授 吉田 裕
 早稲田大学助教授 二神 恭一
 立教大学教授 住谷 一彦
 東京大学教授 松尾 孝嶺
 明治学院大学助教授 三和 治
 慶応義塾大学助教授 蔵田三津夫
 慶応義塾大学助教授 石坂 巖
 成蹊大学助教授 日比 行一
 武蔵工業大学 岡本 定次
 日本女子大学教授 青山 吉信
 成蹊大学助教授 広野 良吉
 日本建築学生会議セミナー
 吉阪 隆正
 日本女子大学講師 吉沢 英子
 東京大学助教授 工藤 篁
 中央大学助教授 松本 正徳
 東京都立大学教授 嵯峨 卓郎
 日本地域開発センター
 早稲田大学教授 木内 信蔵
 尾関 守

関根正雄氏・川口浩氏・久保田きぬ氏・高村象平氏・保賀襄二氏・石川才顕氏・稲田俊信氏・篠原弘志氏・石川利夫氏・河野通久氏・板倉宏氏・落田栄治氏・一番ヶ瀬康子氏・池沢辰夫氏・ニコム・タガバニシ氏・内海庫一郎氏・大橋隆憲氏・松川七郎氏・吉田裕氏・竹内千代氏・三島久美子氏・沖村堪氏・大垣徳三氏・片岡武一氏・関虎男氏・桂 茂氏・沢田克郎氏・松原武生氏・浜辺達男氏・岡野周三氏・西島正氏・大槻富之助氏・荻上紘一氏・安香満恵氏・神達章子氏・渡辺淑子氏・伊藤武広氏・中川久雄氏・都留春夫氏・妻・半谷高久氏・畑一夫氏・辻清明氏・渡辺彰氏・西岡辰三氏・岩崎力氏・大野三郎氏・小林正昭氏・野本曠氏・戸井田幸雄氏・松下孝氏・富士岡義一氏・川西登氏・加藤一郎氏・崎川範行氏・村田喜代治氏・柴田徳衛氏・大島正光氏・石川昌子氏・岡津守彦氏・林容吉氏・大島英樹氏・深津栄一氏・横田地弘氏・大畑篤四郎氏・加藤義喜氏・栗本弘氏・有田恭助氏・島袋嘉昌氏・成田頼昭氏・岡彦一氏・西川久美子氏・小沼路子氏・山下孝介氏・高橋隆平氏・永松士己氏

■ゲストルーム宿泊者
 (四〜二月)

●研究発表には
 最良の場所
 平田 光穂

われわれの研究室では各自が一年間におこなった研究を一人ずつ二〇分位発表し、互いに討論することを目的としてセミナー・ハウスを利用した。人員は大学院生および研究生が一名、卒論の四年生が八名、それに教師が五名で合計二四名であった。

このような研究会は、学内でもできるが、大学にいとんやかの雑用が混入してきて、七―八時間もの長い時間をみっちり使うことは不可能に近い。このようになわけて非常に効果があった。またすばらしい設備の食堂で学生たちと毎食共にすることも、美しい自然の風景を眺めながら構内の丘を散歩できることもここでの生活を楽しくしてくれる。

学会のシンポジウムのような催しを開くにはもってこいの場所である。全国から数十名から百数十名という学者が集って、会員が一緒に泊り、しかも安い費用で十分な討論ができる場所は他にはなかなか探すことができないからである。セミナー・ハウスは学者たちが、さまざまな方法で利用すれば利用価値は無限に大きいものとなるであろう。

(東京都立大学教授)

■寄贈図書

- 「俺には俺の生き方がある」
- 「あやまちだらけの青春」
- 「アイザード立地と空間経済」
- 加藤諦三殿
- 高峯一愚殿
- 「知恵と愛情」
- 「太陽」
- 「心」(雑誌)
- 平凡社殿
- 「トインビー歴史の研究」(二巻)
- 佐藤喜一郎殿
- 「同志社九十年小史」
- 同志社大学殿
- 「東京」
- 柴田徳衛殿
- 「日本の清掃問題」
- 柴田徳衛殿
- 「世界の都市をめぐって」
- 柴田徳衛殿
- 「神を求めて」
- 熊沢宣義殿
- 「西洋中世世界の成立」
- 増田四郎殿

●お願い

この七月には図書館も建つことですから、特に先生方には著書のご寄贈をお願いいたします。また辞書や事典、専門書や一般教養書でお分けいただける書物がありましたらご協力を願います。郵送していただくのはご面倒ですからお知らせくださいましたら、当方から参上いたします。

会員校との事務連絡のため 第一回担当者協議会を開く

大学セミナー・ハウス利用順位の第一は会員校であるから、会員校との事務連絡を緊密にする必要上、かねて会員校側からも連絡会を開きたいという要望もあつたが、ようやくその第一回を開催することができた。当日の出席者は二四大学から四四名の担当者で、きわめし効果的であつた。

昭和四一年一月二日一十一時より正午までラウンジで会議、主として専務理事から利用状況および事業計画について説明があり、順天堂大学学生課長石塚司農夫氏を座長に推し、協議に入つた。申込手続き、共同セミナーの学内周知方法、将来計画など活発な意見の交換を行つた。

食堂で一同、午餐を共にし、約一時間構内の各施設を視察され、少数の者が二時からの講堂新築工事の地鎮祭に残つた。当日の出席者および大学名は左記のとおりである。

東京大学
学生部次長 三島 新吉
学生課 手塚 重郎
厚生部 増田 一郎
理学部事務長 吉野 誠治
理学部 武田 実

一橋大学	学務課長	後藤 正勝	法政大学	厚生課	高井 鏡夫
東京教育大学	庶務課	遠藤三喜男	立教大学	学生部生活課長	住田 篤
東京工業大学	教務課	山中 重則	東京女子大学	庶務課長	久原 良
東京学芸大学	教務課	吉野 秀夫	武蔵工業大学	学生課	鈴木 法子
課外教育係長	森元 直良	折本 直蔵	成蹊大学	学生課	井手 徹
東京農工大学	農学部事務長補佐	清水 正樹	政経学部事務長	矢沢 広行	
厚生部	斯波 秀夫	大場 佐一	文学部事務長	田中 昭二	
電気通信大学	学生課	飯村 大吉	庶務課長	坂上 昌幸	
学生課	お茶の水女子大学	順天堂大学	学生課	平木 典子	
庶務課長	東京外国語大学	学生会次長	共立女子大学	教務課長	石塚司農夫
会計課	教務課	山本 唯雄	教務課	時枝 満康	
東京都立大学	学生課	加藤 実	国際基督教大学	高橋 勝彦	
学生課	早稲田大学	北爪 弘一	助手	土橋 信男	
学生生活課	慶応義塾大学	高瀬 敏行	庶務課	伊津野左千雄	
学生課	学生課	岩田 寿夫	横浜国立大学	厚生課学生係長	佐々木正雄
学生課	学生課	田辺 久夫	神奈川大学	学生部副部長	大野 岩見
法学部事務長	阿部幸二郎	神奈川大学	学生部学生課長	刈野 惇一	

●専務理事ノート

一九六七年を迎えて、セミナー・ハウスは開館第三年目に入り、早くも第三代目の理事長になった。

大浜前理事長は創立当時からの大黒柱であつたが、今後も私にとつては精神的支柱であることに変わりはない。総長や学長は自分の大学のことだけでも激職なのだからセミナー・ハウスのような、いわば直接自分の大学のことでないことに時間を割くということは実に大きな奉仕であり犠牲でもある。しかしそうした貴重な奉仕者がなければ大学の発展は望めない。

大学側の一致した推挙によつて一橋大学長の増田四郎先生が後任理事長に就任された。ヨーロッパの歴史を専攻された学者であるがその学問を通して日本を見ることが出来る学者である。大学を思い学生を愛しては、教育論や学問をする姿勢について論文や著書を公けにされるので、秘かに敬意を払つていたのであるが、幸わせにも理事長にお迎えすることになった。力強い限りである。

「セミナー・ハウスの歌」がほしいという声がある。私もそう思うのであるが、特定な詩人にたのんで作詩してもらふより

も、ここを利用した先生や学生の心の中に生まれた詩がほしいのである。この丘から眺めた富士は美しい。丘から丘へつづく武蔵野の雑木の落葉の下には土が生きている。人と人を結ぶ人間の輪、大学と大学を結ぶ交流の輪がセミナー・ハウスを軸として回転している。セミナー・ハウスの環境には自然と人間の調和がある。そこから感動が生まれ、詩情が湧くに違いない。

セミナー・ハウスのマークがありますかときかれることがあります。公式に決定したものはないが吉阪研究室の創案になる七枚の葉のマークがある。セミナー室の番号を示すのにつかわれている。すばらしいデザインがあらましようか。

今年の七月の開館二周年記念日には講堂(体育館兼用)と図書館の落成式が行なわれる。先生も学生も募金にはぜひ参加していただきたい。誕生日、卒業、入学、結婚、還暦、古稀、などの記念には講堂の募金と決めてください。大学教育の発展とは現実にはこのような協力があつてこそ可能なのである。

講堂ができるセミナー・ハウスの利用度は倍加し、丘陵の建物群はその美しさを増し学生達の訪れをさそふであらう。(編集後記に代えて)